

2020 会 告 No.12

◇通知・案内事項

- 第86年会「一般研究発表(口頭・ポスター)」講演申込締切のお知らせ……………本号4ページ
- 化学工学論文集 特集「SDGsの達成に向けた環境化学工学の役割」論文の募集……………本号7ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

<ul style="list-style-type: none"> ◇年会 ◇秋季大会 ◇支部大会 ◇学生発表会(東地区 西地区) 	(2021) 3/20～22(オンライン) 9/22～24(岡山大学)
--	---

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
2020年12月 December			
1～3	第44回 基礎化学工学演習講座(第3クール) 特別ライブ配信(オンライン)		11号8
10	第54回 化学工学の進歩講習会 「最新情報技術活用によるプロセス産業スマート化 - AI, IoT, MIの基礎から最前線まで(実践編)-」(オンライン)(12/10, 17)		11号9
11	中国地区化学工学特別講演会「持続可能社会の実現に向けた化学産業貢献」(広島県)		10号10
11	第17回女性技術者ネットワーク(オンライン)		本号4
11～12	化学工学会 広島大会2020(広島県)		9号11
15	第13回ChETシンポジウム(オンライン)	12月8日(火)	本号5
17	第52回CEシリーズ講習会「医薬品原薬のフロー合成」(オンライン)		11号7
22	第32回化学工学研究会(オンライン開催の予定)		
2021年1月 January			
12	ソノプロセス分科会2020年度講演会(オンライン)	1月5日(火)	本号5
12～13	最近の化学工学講習会69「バリューチェーンと単位操作から見たリサイクル」(オンライン)		11号7
13	近化電池セミナー「アドバンストLIBを理解するための材料電気化学-その基礎と応用-」 (オンライン)		本号6
21	2020年度コンビナート講習会「IoT・AIのプラント運転への活用と人材育成」(東京都)		本号5
22	第23回「企業と大学・高専の人材育成懇談会」(福岡県)	12月11日(金)	11号9
28～29	粉体エンジニア早期養成講座【ろ過】(大阪府)		5号9
29	第33回CES21「データサイエンスを活用した化学プロセスのスマート化」(オンライン)		本号6
2021年2月 February			
3～4	粉体エンジニア早期養成講座【粒子加工】(兵庫県)		5号9
25	近化資源・環境セミナー「温暖化から地球を守る, 環境対応型プラント」(オンライン)		本号6
25～26	粉体エンジニア早期養成講座【粉碎】(大阪府)		5号9
2021年3月 March			
6	第23回化学工学会学生発表会(オンライン)	12月4日(金)	11号6
20～22	化学工学会第86年会(オンライン)	12月22日(火)	本号4
2021年9月 September			
22～24	化学工学会第52回秋季大会(岡山県)		

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
2021年3月20～22日	International Chemical Engineering Symposia 2021 (ICHES 2021) (オンライン)	12月22日(火)	
2021年7月19～23日	The 14th International Symposium on Process Systems Engineering プロセスシステム工学国際会議2021 (PSE 2021) (京都府)		6号8
2021年9月12～17日	24th International Conference on Chemical Reactor (CHEMEREACTOR-24) (Milan, Italy)		
2021年12月5～8日 (暫定)	26th International Symposium on Chemical Reaction Engineering (ISCRE26) (New Delhi, India)		
2022年6月19～23日 (日～木)	11th World Congress of Chemical Engineering-WCCE11 (Buenos Aires, Argentina)		
2022年8月中旬で 調整中	19th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE) Congress (Kuala Lumpur, Malaysia)		

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
2020 合同 WEB 討論会 (第52回溶融塩化学討論会, 第44回電解技術討論会・ソーダ工業技術討論会, 第40回水素エネルギー協会大会 (HESS大会))(オンライン)	11月26日～ 12月3日(木～木)	合同討論会実行委員会(水素エネルギー協会, 電解科学技術委員会, 溶融塩委員会)	2020goudou@hess.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/hessesj2020/static/registration
第39回溶媒抽出討論会(オンライン)	11月30日～ 12月1日(月～火)	日本溶媒抽出学会	03-5734-3845 takeshita.k.ab@m.titech.ac.jp http://www.solventextraction.gr.jp/jp/00home.html
成形加工シンポジウム'20(富山) プラスチック成形加工学会 第28回秋季大会 「新鮮技術で“きととき”成形加工」(富山県)	12月1～2日 (火～水)	プラスチック成形加工学会	0766-56-7500 sympo2020@jspp.or.jp https://www.jspp.or.jp/
第61回高压討論会(オンライン)	12月2～4日 (水～金)	日本高压力学会	070-5658-7626 (020-4665-8596) tounonkai61@highpressure.jp http://www.highpressure.jp/new/61forum/
第58回燃焼シンポジウム(オンライン)	12月2～4日 (水～金)	日本燃焼学会	089-927-9718 sympo58@combustionsociety.jp http://www.combustionsociety.jp/sympo58/
第53回安全工学研究発表会(オンライン)	12月3～4日 (木～金)	安全工学会	03-6206-2840 jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/
Joint 11th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 21th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS&ISIS2020) (オンライン)	12月5～8日 (土～火)	日本知能情報フュージ学会	scisis2020+info@gmail.com http://scis.j-soft.org/2020/
2020年度 JCOM 若手ウェビナー(オンライン)	12月7～8日 (月～火)	日本材料学会	075-761-5325 (075-761-5321) JCOM2020wakate@jsms.jp http://www.jsms.jp
2020年度 第2回静電気学会講習会 「静電気災害の実例と対策～基礎・計測, 液体災害, 粉体災害, リスクマネジメント～」(オンライン)	12月8日(火)	静電気学会	03-3815-4171 (03-3868-3339) iesj@iesj.org
第3回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議 (COMPSAFE2020) (兵庫県)	12月8～11日 (火～金)	COMPSAFE2020実行委員会	secretary@compsafe2020.org http://www.compsafe2020.org
革新的環境技術シンポジウム2020 ～ビヨンド・ゼロに向けたイノベーションの推進～ (東京都 & オンライン)	12月9日(水)	地球環境産業技術研究機構	0774-75-2301 (0774-75-2314) pub_rite@rite.or.jp

第40回レオロジー講座－基礎と測定法－(東京都)	12月9～10日 (水～木)	日本レオロジー学会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/
第47回炭素材料学会年会(沖縄県)	12月9～11日 (水～金)	炭素材料学会	http://www.tanso.org/contents/event/conf2020/index.html
第15回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム(東京都)	12月9～11日 (水～金)	再生可能エネルギー協議会	03-5297-8855 (03-5294-0909) info@renewableenergy.jp http://www.renewableenergy.jp
2020 第1回粉体技術者養成講座【集じん】(愛知県)	12月10～11日 (木～金)	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530)
女子大学院生・ポストクのための産総研所内紹介と在職女性研究者との懇談会(オンライン)	12月14日(月)	産業技術総合研究所 イノベーション人材部 ダイバーシティ推進室	diversity-event-office-ml@aist.go.jp https://unit.aist.go.jp/diversity/ja/event/191118_div_event.html#j
2020 環太平洋国際化学会議(PACIFICHEM2020)(ハワイ州ホノルル)	12月15～20日 (火～日)	日本化学会	03-3292-6163 sakurada@chemistry.or.jp https://pacificchem.org
第29回微粒化シンポジウム(オンライン)	12月17～18日 (木～金)	日本液体微粒化学会(ILASS-Japan)・日本エネルギー学会	0277-30-1523 yzama@gunma-u.ac.jp http://www.ilass-japan.gr.jp
No20-83 特別講演会 国際規格対応 安全入門セミナー2020 安全の基礎を学ぶ(欧州CEマーキング)(オンライン)	12月18日(金)	日本機械学会 産業・化学機械と安全部門	03-5360-3510 https://forms.gle/PGMP4u8sVR5J4d5V6
第34回数値流体力学シンポジウム(沖縄県)	12月21～23日 (月～水)	日本流体学会	cf34-admin@navier.mes.titech.ac.jp http://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd34/
第37回ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム2021(オンライン)	2021年 1月19～22日 (火～金)	日本膜学会・日本能率協会	03-3434-1410 (03-3434-3593) tech-con@jma.or.jp
第16回バイオマス科学会議(オンライン)	2021年1月 20～21日(水～木)	日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) tsunasawa_jie1921@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/732/
第32回高分子ゲル研究討論会(東京都)	2021年 1月21～22日 (木～金)	高分子学会 高分子ゲル研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) http://main.spsj.or.jp/c12/gyoji/gels.php
第26回高専シンポジウム(オンライン)	2021年1月23日(土)	高専シンポジウム協議会	0859-24-5160 0859-24-5009 office365@kosenympo.onmicrosoft.com https://kosen-sympo.org/
第37回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス(東京都)	2021年 1月26～27日 (火～水)	エネルギー・資源学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) webmaster@jser.gr.jp
第42回安全工学セミナー「安全マネジメント講座」(オンライン)	2021年 1月28～29日 (木～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
第27回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム(Mate2021)(オンライン)	2021年2月 2～15日(火～月)	(一社)スマートプロセス学会 エレクトロニクス生産科学部会、(一社)溶接学会 マイクロ接合研究委員会	http://sps-mste.jp/mate2021/src/
第43回 2021産業安全対策シンポジウム(オンライン)	2021年 2月16～19日 (火～金)	日本能率協会	03-3434-1410 (03-3434-3593) tech-con@jma.or.jp
第13回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウム(ISPlasma2021)／第14回プラズマナノ科学技術国際会議(IC-PLANTS2021)(オンライン)	2021年 3月7～11日 (日～木)	応用物理学会	052-581-3241 isplasma2021@intergroup.co.jp http://www.isplasma.jp/

No.21-10 講演会 「生産システム部門研究発表講演会2021」(オンライン)	2021年3月8～9日 (月～火)	日本機械学会	03-5360-3505 hashiguchi@jsme.or.jp http://jsme.or.jp/msd/
第58回粉体に関する討論会(北海道)	2021年9月6～8日 (月～水)	第58回粉体に関する討論会	0143-46-5747 (0143-46-5701) syama@mmm.muroran-it.ac.jp http://www.mtrl.kitami-it.ac.jp/~funtai/
The 9th International Symposium on Surface Science (ISSS-9) (香川県)	2021年 11月28日～ 12月2日(日～木)	日本表面真空学会	(03-3812-2897) iss9@jvss.jp http://www.jvss.jp/iss9
International Symposium on Catalysis and Fine Chemicals (C&FC2021)(東京都)	2021年12月 6～10日(月～金)	触媒学会 ファインケミカルズ合成触媒研究会	06-6850-6260 mizugaki@cheng.es.osaka-u.ac.jp
The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022)(山梨県)	2022年7月5～8日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/

第86年会「一般研究発表(口頭・ポスター)」講演申込締切のお知らせ

講演申込締切：2020年12月22日(火)23:59

大会webサイトからのお申し込みに限ります。

<http://www3.scej.org/meeting/86a/>

講演要旨原稿提出期間：2021年1月5日(火)～2月20日(土)23:59 必着

ポスター原稿提出期間：2021年1月5日(火)～3月15日(月)23:59 必着

(ポスター発表のみ)

開催：2021年3月20日(土)～22日(月)

会場：オンライン開催。

ただし、一部、オンサイトを併用して実施する可能性があります。

(詳細は10月号会告を参照ください。)

○発表形式(口頭、ポスター)について

学生会員・海外学生会員はポスターセッションで発表していただきます。ただし、学生会員・海外学生会員のうち、博士課程(ただし前期課程を除く)学生に限りポスター発表と口頭発表を選択できます。講演申込においてご注意ください。なお、正会員、教育会員、海外正会員、海外連携会員、法人会員(維持会員、特別会員、特別地区会員)に属する社員の方は、口頭発表、ポスター発表のいずれにもお申し込みいただけます。

なお、本大会のポスターはオンライン掲示と

なりますので、ポスター発表者は1段組のA0縦1枚のポスターを3月15日(月)までにPDFファイルで提出いただきます。詳しくは大会webサイトでご確認ください。

○口頭発表時の投影物およびポスターでの使用言語について

本大会では、学術発表の口頭発表時の投影物およびポスターでの使用言語を原則として英語とします。ただし対象外となるシンポジウム/セッションがありますので、詳しくは大会web

サイトでご確認ください。

詳細は、大会webサイト (<http://www3.scej.org/meeting/86a/>)をご参照ください。

問合せ先

化学工学会第86年会実行委員会
E-mail: inquiry-86a@www3.scej.org

男女共同参画委員会

第17回女性技術者ネットワーク

化学工学会では老若男女が共に生きる社会を目標としております。本会合では、自然科学系女性技術者・研究者の抱えている様々な課題について、情報交換を行い、女性技術者・研究者のネットワークを作ることを目的としています。また、先輩女性の仕事やワーク・ライフバランスに関する経験に基づいたお考えや所属組織での取り組みに関する講演も同時に行います。

日時 2020年12月11日(金)

講演：18:00～19:00(どなたでも、また遅れてもご参加できます)

交流会：19:00～19:30

場所 オンライン開催(Teamsの予定)

講演者 2名

1) 玉田 薫氏(九州大学 副学長、九州大学先端物質化学研究所 教授)

講演題目：「自己組織化と自己実現と」

2) 高橋香織氏(心身共に快適な靴研究所 所長)

講演題目：「子育てしながら管理職をやってみて感じたこと、そして今、靴の研究に没頭する理由」

費用 無料

化学系の分野の方であれば、化学工学会の会員でなくても、女性でも男性でも参加可能です。

参加を希望される方は、下記の申込用メールアドレス宛に氏名、所属組織名、役職等を記入の上、申込願います。

申込用メールアドレス：future_inquiry@scej.org

部 会 C T

ソノプロセス分科会 2020年度講演会 「超音波を用いた合成技術の最前線」

主催 化学工学会反応工学部会ソノプロセス分科会

協賛 日本ソノケミストリー学会, 日本セラミックス協会マテリアル・ファブリケーション・デザイン研究体

日時 2021年1月12日(火)

場所 オンライン開催

液相に超音波を照射することで生じる局所極限場を活用するプロセスはソノプロセスと呼ばれ、物質合成、分解、溶解、分離、抽出、洗浄など、様々な活用が期待されており、照射条件を適切に制御することで高性能なプロセスを構築することができます。また、特異的な反応を生じさせるにもかかわらず、他の加熱・加圧を

利用する反応系とは異なり、常温常圧であることから比較的簡便な装置系を組めることも魅力的な点です。本講演会では、合成技術に関するソノプロセスの最新動向についてご講演いただき、知見を深めます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

プログラム

13:00～13:40 展望講演「超音波を活用した合成技術の進展と展望」

東北大学 大学院工学研究科 久保正樹氏

13:40～14:20 依頼講演1「超音波由来ファインバブルを用いた金属のポーラス化技術」

山形大学 大学院理工学研究科 幕田寿典氏

14:20～15:00 依頼講演2「超音波とウルトラファインバブルによる金ナノ粒子の合成」

名古屋大学 大学院工学研究科 安田啓司氏

15:00～15:20 休憩

15:20～16:00 依頼講演3「刺激応答性高分子ミ

セルキャリアを用いた化学プロセスの合成」
東京電機大学 工学部応用化学科 小林大祐氏
16:00～16:40 依頼講演4「超音波に立脚した実用ナノ材料合成とSDGsおよび産学連携推進」
東北大学 大学院工学研究科 林 大和氏

参加費 会員 2,000円, 学生会員 無料, 非会員 4,000円

申込締切 1月5日(火)

申込方法 参加者のお名前, ご所属, 連絡先(E-mail, TEL等), 会員種別をご記入の上, 下記連絡先まで(できるだけE-mailで)お申込下さい。お支払い方法をメールにてお知らせします。

連絡先 〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-07

東北大学 大学院工学研究科 化学工学専攻 久保正樹

E-mail: m.kubo@tohoku.ac.jp

地 域 C T



関 東 支 部

2020年度コンビナート講習会 「IoT・AIのプラント運転への活用と人材育成」

主催 化学工学会関東支部

協賛 化学工学会 システム・情報・シミュレーション部会

近年進歩が著しいIoT, ビッグデータ, AI等の技術の石油・化学等のプラントの制御・運転管理・安全の確保などへの適用については、初期の話題性や適用対象・方法などについての議論は一巡しつつあり、さらに先を見据えた一層の活用・具体化をする段階に移りつつあります。一方で、それを担う必要な人材の確保・育成も喫緊の課題の一つとなっています。

本講演会は、上記状況を踏まえて、「IoT・AIのプラント運転への活用と人材育成」と題して、どのようなIoT・AI技術等をどのような場面で/どのような形で適用し、またそれに必要な人材の確保・教育にどのように取り組んでいるかについて、各企業での具体的な実際の取り組みについての講演で構成しました。関係各位における今後の取り組みを考え、さらに推進して行く際の一助となれば幸いです。

日時 2021年1月21日(木)13:30～17:15

会場 東京理科大学 森戸記念館(東京都新宿区神楽坂4-2-2)

JR総武線, 地下鉄有楽町線, 東西線, 南北線飯田橋駅下車 徒歩6分
<https://www.tus.ac.jp/info/access/kagcamp.html>

(新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン開催とさせて頂く場合があります。)

プログラム

〈開会の辞〉

13:30～13:35 (公社)化学工学会関東支部第2企画副委員長挨拶

(今後調整)

〈講演〉(13:35～17:10)

13:35～14:15 「住友化学におけるスマートファクトリーの取組みと人材育成」

(住友化学(株)) 金子正吾氏

14:15～14:55 「三菱ケミカルにおけるデジタル人材育成の取り組み」

(三菱ケミカル(株)) 手塚理沙氏

14:55～15:35 「旭化成におけるデータ分析人材育成について」

(旭化成(株)) 奥 武憲氏

〈休憩〉(15:35～15:50)

15:50～16:30 「ダイセル式生産革新と今後の展開」

((株)ダイセル) 近藤弘康氏

16:30～17:10 「デジタル技術活用によるフィルム生産プロセスの改善・現場力向上」

((株)カネカ) 花田功治氏

〈閉会の辞〉

17:10～17:15 (公社)化学工学会関東支部第2企画委員長挨拶

(千代田化工建設(株)) 蛙石健一

定員 50名(定員になり次第締切)

参加費 正会員 9,000円, 法人会員社員 11,000円, 会員外 15,000円, 学生会員 2,000円

尚, それぞれの参加費にはテキスト代と消費税が含まれます。

申込方法 Web, メールあるいはFAXにてお申し込みください。

・Web申込み: 関東支部HP (<http://www.scej-kt.org>)の次回行事開催一覧の「コンビナート講習会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので, 必要事項を記入の上, ご送信ください。

・FAX, E-mailによる申込み: 関東支部事務局宛, 「コンビナート講習会」と明記し, 会社・学校名, 参加者氏名, 所属部署, 郵便番号, 住所,

電話番号, FAX番号, E-mailアドレス, 会員資格, 参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上お送りください。

申込先 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 公益社団法人 化学工学会関東支部

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

E-mail: info@scej-kt.org



東 海 支 部

第13回ChETシンポジウム

主催 化学工学会東海支部ChET(旧若手の会)

共催 化学工学会東海支部未来の化学工学を創る会

本シンポジウムでは、化学工学を専攻している学生がどのような業界、職種で活躍しているのかを知り、視野を広げてもらうことを目的に、企業から若手技術者をお招きし、仕事の紹介をしていただくとともに、仕事への姿勢、勉学の大切さ、社会人としての心構え等をお話ししていただきます。特に、化学工学を専門とする学生に特化した企業情報や将来のキャリアに関するアドバイスを得ることで、今後の勉学への取り組みに役立ててもらうことを期待しています。

日時 2020年12月15日(火)13:20～17:00頃まで

開催形式 オンライン開催

プログラム

開会挨拶

企業からのプレゼンテーション(各社10分程度の講演をお願いします。)

①コスモ石油(株) 河合大輔氏

②愛三工業(株) 成田雄人氏, 野村啓一郎氏

③KHネオケム(株) 佐藤義将氏

④中部電力(株) 川合翔太氏

- ⑤東亜合成(株) 武田康弘氏
- ⑥JSR(株) 酒井康成氏
- ⑦三菱自動車工業(株) 山本翔太氏

休憩
サロン交流

参加申込時に募集した若手技術者への質問や、リアルタイムでの挙手およびチャット形式の質問による若手技術者との交流を通じて、勉強や研究、就職に関する知識の共有を図ります。

閉会挨拶

参加申込に際して

- ・当シンポジウムは、Web会議システム Microsoft Teamsを利用したオンライン形式で開催します。
- ・講演会の当日、事前に参加申込いただいた方に、接続先の情報をメールでご連絡します。メール本文中に記載されたURLをクリックしてご参加ください。URLをクリックしますと、通常はお使いのWebブラウザが起動し、Teamsの画面が表示されますが、無料版Teamsアプリ (<https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/microsoft-teams/free>) の利用もご検討ください。接続環境については、事前の十分なご確認をお願いいたします。また、そのURLを他の方に転送することはご遠慮ください。
- ・視聴中の録画や録音などは、固く禁止いたします。
- ・当シンポジウムは参加無料ですが、事前にお申し込みいただいた方のみ視聴に限定いたします。

申し込み先・問い合わせ先

「氏名」「大学名」「研究室名」「学年」「若手技術者にぜひ聞いてみたいこと(複数でも構いません)」を明記の上、2020年12月8日(火)までに、以下の宛て先にメールでお申し込みください。
名古屋工業大学大学院工学研究科生命・応用化学専攻
博士前期課程2年 石橋拓人
E-mail : t.shibashi.382@stn.nitech.ac.jp



関西支部

近化電池セミナー

「アドバンストLIBを理解するための材料電気化学—その基礎と応用—」

主催 近畿化学協会
共催 化学工学会関西支部

日時 2021年1月13日(水)9:20～16:40

開催手段 オンライン配信

プログラム

1. 岩塩型リチウム過剰高容量正極材料研究の新展開 (横浜国大院工) 藪内直明氏
2. 酸化物負極の構造と電極特性 (阪大院工) 有吉吾氏
3. リチウムイオン電池用ケイ素系負極の創製とキャラクターゼーション (鳥取大院工) 坂口裕樹氏
4. 黒鉛系負極と SEI (京大院工) 安部武志氏
5. 固液界面近傍におけるイオン伝導 (神戸大院工) 水畑 穰氏
6. 次世代電解液材料の考え方 (東大院工) 山田裕貴氏

7. 全固体リチウムイオン電池に向けた結晶系固体電解質材料の開発

(東工大物質理工) 平山雅章氏

8. 全固体電池への応用にむけたアモルファス系固体電解質の開発 (阪大院工) 林 晃敏氏

参加費 主催団体会員 18,000円、共催団体会員 23,000円、会員外 28,000円、大学・官公庁職員 7,000円、学生 5,000円

申込締切 定員(80名)になり次第締切

申込方法 近化電池セミナーのホームページ (<https://kinka.or.jp/event/2021/r2cell.html>) からお申込みください。参加費は、銀行振込(三井住友銀行備後町支店 普通預金No.1329441 一般社団法人近畿化学協会)をご利用ください。(振込手数料は参加者でご負担願います)

注意事項

- ※オンライン配信ツールは「Zoom」を利用します。
- ※参加登録をいただいた方には、12月下旬に参加証とオンライン配信の聴講方法ついてE-mailでお知らせします。
- ※1つのアカウントで、複数名での聴講は禁止します。
- ※パソコン・タブレット等、聴講(受信)に必要な機材や設備は各自でご準備ください。
- ※講演資料の録画・録音は固く禁止します。

申込先 一般社団法人近畿化学協会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL : 06-6441-5531 FAX : 06-6443-6685
E-mail : mail@kinka.or.jp

第33回CES21 オンライン講演会 「データサイエンスを活用した化学プロセスのスマート化」

主催 化学工学会関西支部CES21

協賛 近畿化学協会、日本化学会近畿支部、計測自動制御学会、化学工学会 システム・情報・シミュレーション部会、同 粒子・流体プロセス部会、同バイオ部会

日時 2021年1月29日(金)10:00～15:50

開催手段 オンライン配信(ライブ配信)

プログラム

1. AI・IoTを用いた化学プラントのスマート化 (東農工大院工) 山下善之氏
2. 機械学習を「社会実装」するということ (ブレインパッド) 内池もえ氏
3. AIを活用した「自律型生産システム」 (ダイセル) 三好史浩氏
4. 成分分析×機械学習による工業バイオプロセスのスマート化 (北見工大工) 小西正朗氏
5. 化学工学におけるAIおよびデータ駆動的活用 (NIMS) 永田賢二氏

申込締切 定員(80名)になり次第締切

参加費 主催・協賛団体会員 3,000円、学生 1,000円、会員外 5,000円(テキスト代、消費税含む)
申込方法 本講演会のホームページよりお申込みください。参加費は銀行振込(りそな銀行御堂筋支店 普通預金 No.0405228「公益社団法人化学工学会関西支部」名義)をご利用ください。(振込手数料は参加者でご負担願います)

注意事項

- ※オンライン配信ツールは「Zoom」を利用しま

す。

※講演要旨は、事前に郵送させていただきます。(講演会の約1週間前)

※参加登録をいただいた方には、1月中旬頃にオンライン配信の聴講方法ついてE-mailでお知らせします。

※1つのアカウントで、複数名での聴講は禁止します。

※パソコン・タブレット等、聴講(受信)に必要な機材や設備は各自でご準備ください。
※講演資料の録画・録音は固く禁止します。

申込・問合先

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
公益社団法人化学工学会関西支部
TEL : 06-6441-5531 FAX : 06-6443-6685
E-mail : apply@kansai-scej.org

近化資源・環境セミナー 「温暖化から地球を守る、 環境対応型プラントの展望」

主催 近畿化学協会

共催 化学工学会関西支部

日時 2021年2月25日(木)13:00～17:00

開催手段 オンライン配信

プログラム

1. 水と炭酸ガスから石油をつくり同時に炭酸固定を行う技術の実用化 (立命館大総合科学) 今中忠行氏
2. CO₂選択透過膜の開発とその応用・実用化状況 (ルネッサンス・エナジー・リサーチ) 岡田 治氏
3. アンモニアのオンサイト供給を目指して～アカデミアの基礎研究から実証機まで携わってきて想うこと～ (つばめBHB) 井上泰徳氏
4. バイオベースの新素材「改質リグニン」の地域導入型製造システム (森林研究・整備機構) 山田竜彦氏

参加費 主催・共催団体会員 7,000円、大学・官公庁 3,000円、会員外 12,000円(テキスト(電子ファイル)、消費税含む)

定員 80名(定員になり次第締切)

申込方法 近化資源・環境セミナーのホームページ (<https://kinka.or.jp/event/2021/r2eco.html>) よりお申込みください。参加費は、銀行振込(三井住友銀行備後町支店 普通預金No.1329441 一般社団法人近畿化学協会)をご利用ください。(振込手数料は参加者でご負担願います)

注意事項

- ※オンライン配信ツールは「Zoom」を利用します。
- ※参加登録をいただいた方には、2月中旬に参加証とオンライン配信の聴講方法ついてE-mailでお知らせします。
- ※1つのアカウントで複数名での聴講は禁止します。
- ※パソコン・タブレット等、聴講(受信)に必要な機材や設備は各自でご準備ください。
- ※講演資料の録画・録音は固く禁止します。

申込先 一般社団法人近畿化学協会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL : 06-6441-5531 FAX : 06-6443-6685
E-mail : seminar@kinka.or.jp

求人

☆豊田工業大学工学部先端工学基礎学科 教育職員募集☆

募集人員：教授または准教授 1名
専門分野：ソフトマテリアルの科学・工学（詳細は本学HPを参照してください）
応募資格：高分子・有機材料の設計・合成，構造解析，物性評価等の研究実績があり，それらを基に応用研究まで取り組める方。（詳細は本学HPを参照してください）
応募締切：2021年1月29日（金）必着
問合せ先：選考委員会委員長 本山幸弘
TEL：052-809-1807
E-mail：motoyama-01@toyota-ti.ac.jp
<https://www.toyota-ti.ac.jp/recruit/faculty/faculty.html>

化学工学論文集 特集「SDGsの達成に向けた環境化学工学の役割」論文の募集

化学工学会論文誌編集委員会では，化学工学論文集において，特集「SDGsの達成に向けた環境化学工学の役割」の論文を募集します。本特集は環境部会が中心となって企画されたものですが，環境部会以外の方の会員さらには化学工学会員以外の方の投稿も歓迎いたしますので，関連分野の研究者の方々にもお知らせいただければ幸いです。

SDGsの達成に向けた環境化学工学の役割

環境部会では，化学工学分野での環境に関連する研究成果の発表ならびに情報発信の場として，化学工学論文集や*J. Chemical Engineering, Japan*の特集号をこれまでに4刊発行してきました。前者の実績として，2010年度「地球環境とリサイクル」(vol. 36, No.4)，2012年度「水と大気と土の化学工学」(vol.38, No.5)および2017年度「未来を担う環境化学工学」(vol.43, No.4)があげられます。上記の特集号において，数多くの総合論文，一般学術論文，技術論文を掲載してきました。環境部会員，学会員はもとより，環境分野

に携わる一般の皆様にも興味深い内容を発信することができたと考えています。

環境部会では，上記企画の続編として「SDGsの達成に向けた環境化学工学の役割」の題目で，新たに化学工学論文集の特集号を企画，提案いたします。昨今，あらゆる分野でSDGsがキーワードとして掲げられています。本企画では，環境化学工学が目標達成の一助となる有力ツールであるという考え方に基づいて，幅広く環境関連分野の総合論文，一般論文，技術論文を募集し，紹介，発信することを目指しています。部会員，学会員のみならず，環境分野に関心を抱く一般読者へのアピールにもつながると考えています。

皆様の積極的な投稿をお願いいたします。

投稿締め切り：2021年3月31日（水）

発行：2021年11月20日（土）（予定）

投稿サイト：<http://www.scej.org/publication/bulletin/>

論文投稿にあたって論文の種類，体裁などは

化学工学論文集の投稿規定に従ってください。論文投稿サイトにおいて，論文情報入力時に特集号への投稿を確認する項目があります。必ず「SDGsの達成に向けた環境化学工学の役割」と入力ください。入力がない場合，一般論文として審査が進みます。

同一著者による投稿は総説を除き1号あたり2編までです。特集の審査期間は原稿締め切り後4ヶ月以内，刊行は，審査終了後4ヶ月以内を予定していますが，審査状況によっては，一部の審査が終了していない原稿について，特集への掲載をせず，一般論文として引き続き審査することもあります。また，大部分の論文審査が早く終了した場合は，予定を繰り上げて刊行することもあります。

なお，特集に関するお問い合わせは電話，FAX，電子メールで受け付けております。

TEL：03-3943-3527 FAX：03-3943-3530

E-mail：wabunron@scej.org